

AAS NEWS (Vol. 56)

発行日 令和 5年 7月19日 (年2回発行)

AAS(愛知アジアスカラシップ)を開始して26年になります。当時は自慢だった豊かな黒髪が、いつの間にやら寂しいゴマ塩頭になり、元気に2段登りをした駅の階段は避け、エレベーターの常連になり、休日はドライブで動き回るのが定番だったのに、ごろ寝が一番になった今日この頃。しかし、毎年のネパール訪問で子どもたちの夢と希望のエネルギーをもらうことが壮年期の毎日の大きな原動力です。



【2023 カトマンズ】

- 2015年の大地震以来、遅ればせながらの建築ラッシュが訪れたようで、中層ビル・マンションを中心にカトマンズの建設現場が賑わっている。そして、昔から高値だった市内の地価が更に上昇して、25平米当たり200万円が相場と聞いた。豊橋市郊外の自宅付近と同じくらいか？
- 地震復興の資金が供給され投資活動が活発になり、事業者が増えたことで、当然ながらビジネスの成功組と失敗組がそれぞれ増えた。賃金レベルもそれなりに上昇しているという。
- そして特筆すべきは不正蓄財で投獄された事業者が多くなったという。ネパールに入学したブータン難民を米国に移送する事業で、巨額の不正があり、当時の政治家が投獄されたそう。一般のネパール人をブータン難民と偽って、米国からの助成金を長年にわたって不正受給していたグループがいたそう。

4. ネパールガンジの国内便で、自分の搭乗券番号の席にネパール人が堂々と座っていた。

「そこは私の席だろう？」

「そうだったかね。でも、どっちでもかまわないだろう、違いは無いよ。」

「いや、私は旅行者で窓から外を見たいのだからダメだよ、替わってくれ」

ネパールならよくある話ながら、この交渉によって席を替えることができた。この結果、期待していなかったヒマラヤを思いがけず観覧することができた。南のタライ平原亜熱帯のネパールガンジ行きなのに青白い荘厳なヒマラヤが勇姿を見せた。

夜行便だった帰りの便でも席番違いがあちこちあり、同じやり取りの会話がネパール人同士であったが、お互いに納得して替わらずいた。夜景もなかなかのものなのになあ。

5. 「金が一番」的な風潮が蔓延ってきたように思う。40年前のネパールの村は、限られた社会の中で貧しい故の「金が一番」的な一種の文化があった。国政選挙では短期的な利益誘導の集票活動で、それを村人にアピールする政治家が当選していた。昨今は中東、オーストラリアや韓国などワールドワイドに働く若者が多く、カトマンズ市内でも彼らを繋ぎ止めるだけの報酬は見込めない。そしてネパール(カトマンズ)文化が世界的な経済第一主義に同化しつつあるように感じた。

6. 帰り便の窓下に幹線道路の照明、山間地の集落でも明かりが連続、展開、集合する。電化が大きく進んでいることを実感した。今までの計画停電は過去のものになったらしい。

7. 教育熱は高いが、「12年+4年」の大学までの教育費はやはり高い。政府の奨学金制度も段々と拡充している様子。成績が特に優秀な生徒は狭き門のそれを目指すという。

8. 40年前からカトマンズはネパールじゃない、と言われるほど首都と地方との社会資本格差は大きかった。今は電化や通信の整備は国全体で普及が進み、便利になったと思う。但し、その国土は世界一の標高差を持ち、モンスーン気候の雨季には豪雨がその標高差を平す。自然が遠慮無く猛威を振るうこの国ではインフラの主幹をなす道路開発がなかなか進まない。ロードヘッドから放射状に広がる村村では依然として自給自足の生活は続いている。

9. 昔のネパール隊員は「草の根の援助」を具現するべく、地方在住型が多かったが、今ではその「奥地前進主義」は撤廃されたそう。コロナ後のネパール隊員派遣は再開されていない。



ローカルスタッフのみで隊員は2人

【2023 トウルシプール】

1. 今まで何度かジープ 11 時間の長旅でしか行ったことの無かった、西部トウルシプール行きに今回は初めて空路を使った。ネパールガンジ空港は地方で一番大きな町に有り、ネパール国内第 2 の人口を誇るが初めて行く町だ。今年正月のショッキングなポカラ国際空港の事故で、ためらう気持ちもあったが、長い陸路の忍耐を避けたい気持ちが勝った。

見る風景はネパールらしいリキシャとヒンズー寺のコラボレーションだった。車のすれ違いが難しい狭い道に人、牛、犬、バイクそしてリキシャがひしめく。暑くほこりっぽい道は石板が凸凹しておりゴミ捨て場には牛がたむろする。近くのインド国境検問所にはトラックと同じくらいの積み荷を乗せた荷台付バイクが通過待ちで並ぶ。活気のある交通の要所として人の熱気も亜熱帯の町の温度を上げている。

空港からはコマルオリ・ファウンデーション（以下コマルファンド）のジープでトウルシプールへ。アジアハイウェイを途中で山道に分岐し、起伏の激しい川沿いのルートを走るたった 2 時間の道のりである。

2. 幹線道路のターミナル（ロードヘッド）としてトウルシプールは発展している。この町は AAS と関わりが深く強い。理数科隊員の鈴木誠一郎 OB の知人で、正義あふれるビスマ KC 校長がこの地にトウルシスクールを開校した。そして記念すべき AAS 第 1 期生がこの学校の 2 人の教え子たちである。



ネパールガンジの寺院



最終豊橋講演 中央がコマルさん

ヒマラヤの超人気ミュージシャン来日 नेपाली क्यारावन
ネパールィ キャラバン 2001

NEPALI CARAVAN 2001

FINAL CONCERT
フォークソングとダンスのライブ

出演
スズルマ SHARMA SUDESH SHARMA 男性歌手 現職 リーダー
コマル オリ ROMAL OLI 女性歌手
ビネ・ブハトクヒ BINA BHATTOKHI 女性歌唱指導者
デブキ・ダハル DEVAKI DAHAL 女性歌唱指導者

ゲスト出演
パンチャ・ラマ PANCHHA LAMA 男性歌唱指導者 CD・ベストアルバム発売中
ジャナク・シレスト JANAK SHRESTHA 男性マダムの手 CD・ベストアルバム発売中

NGO CHARITY EVENT
豊橋市は「豊橋市をネパールに縁の地、北北のボランティア活動に励む」を目的として、2001年10月10日（日）に「NEPALI CARAVAN 2001」を開催し、収益の一部をネパールに寄付する。参加費は ¥3,000 以上、寄付金も歓迎いたします。

プログラム (概略)
1 ヒマラヤのふもとにケラライ早稲の栽培
2 伝統的な古くは古舞踊
3 古典的コミックダンス
4 歌唱・文芸 (民族舞踊) の演奏

6月10日(日)
開演 13時30分 開演 14時00分
会場 豊橋市駅前文化ホール

そして、トウルシプール市長だったヤミンドラ・オリ氏や妹のコマル・オリ氏はじめオリ家の人々とも長い付き合いがある。コマル・オリ氏は 2001 年に行った、「ネパールィキャラバン (AAS 基金作りのため日本国内を巡業)」に賛同して歌手として参加、その後も AAS の支援者である。アナウンサー兼歌手としての知名度を生かし、国会議員としてのキャリアを持ち、4 年後の再選を目指す政治家でもある。

3. AAS ネパールの運営を強化するため、A 地域 (カトマンズ・ポカラとその近郊) と、B 地域 (それ以外) の 2 つに分けることとした。A 地域は以前からのバタスファンド、B 地域は新規にコマルファンドとする。AAS 奨学生の発掘、送金開始までの世話、就学期間の生徒の相談役などを担当してもらう。日本側は生徒の就学確認と各生徒口座への国際送金を担当する。

4. 山間部の「学校に行きたい」生徒に就学支援をするという AAS の目的に合致した面接となった。トウルシプールからさらに奥地の村々から 3 人の新規推薦が有り、それぞれの父親や親戚のバイクに乗って来た子どもたちと面接、今年の支給を開始することになった。面接は本業で忙しい中、コマルファンド・ナレンドラ・オリ氏が設定してくれた。

5. 今回は杉江貞子さん提供の古着を⑥新規生徒の村に届けることが出来た。重量制限 23kg ぎりぎりまで苦労してパッキングした甲斐があった。次回は 30kg 制限のシンガポール航空に早割券を探して、さらに運び屋としてグレードアップしよう。

2023年 現・新奨学生面接報告

【コマルファンド運営分】 [5/28] トウルシスクールの面接は現奨学生サハラ・パリヤール 8 年生とこの春に卒業したアスミータ KC の女生徒二人。アスミータさんの 10+2 と 5 年生の生徒は 1 年後の再審査となった。[5/29] トウルシプールホテルの面接は村からの新奨学生 3 人とその関係者たちでにぎわう。

アスミータ KC と①サハラ・パリヤール 8 年生



ビスマ KC 校長と 5 年生



モーニングサービスの朝食をみんなで食べながらの面接となった。トウルシプールの近郊とはいえ早朝に出発、バイク (90cc) に 2, 3 人で相乗りして約 50km の山道をキャラバンしてきた。②アニタはしばらく両親の離婚により通学が出来ないでいたが、今は叔父の家に母子で住むことになり、医師になりたいという夢をもち通学している。8 年生からは徒歩 2 時間の上級学校に通うことになるという。④イサラは 7 人家族の末っ子で上の学校に行くにはやはり 2 時間という。

②アニタ・プラキ 6 年生



③サントイッパ・ネパ 6 年生



④イサラ・BK 6 年生



【バタスファンド運営分】 [5/31] カトマンズ、アナンダホテルにて現奨学生 3 人と新奨学生 1 人で午前 10 時に面接を始める。⑤2 年目なのに緊張するレッシュマの笑顔を見たくて笑わせようとするが…。次回は笑顔で。⑥同じく 2 年目の笑顔のラディカは成績がダウン。家族みんな Dengue 熱に感染して 1 ヶ月間通学できなかったのが理由。新奨学生⑧ビネッシュは靴職人の父親が付き添う面接となった。君も次回は笑顔で。⑨カルナは昨年のポカラ面接では 5 年生だったため 1 年保留後に正式に AAS 奨学生として承認した。

⑧ビネッシュ・ラム・チャムール 8 年生



⑨カルナ・カキ 6 年生



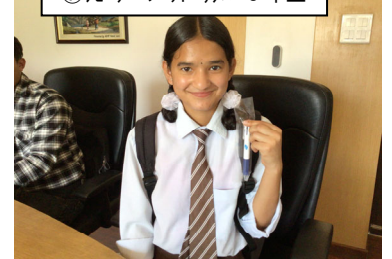
⑤レッシュマ・ラムテル 7 年生



⑥ラディカ・バネット 7 年生



⑦サビタ・ブットウタ 8 年生



【AAS会計報告】

1. 令和4年度 AAS 活動報告

令和4年 5月14日～26日 AAS ネパール調査旅行
令和4年 6月30日 AAS ニュース VOL. 54 発行 60部
令和5年 1月 1日 AAS ニュース VOL. 55 発行 60部

2. 令和4年度会計報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

[費目]	決算(円)	摘要
[収入の部]		
繰り越し	104,168	
会費収入	66,000	29名 5年会費 1名
寄付金	284,680	12名+旅費個人負担分
基金から	100,000	残高¥1,400,000
利息	1,793	
計	556,641	
[支出の部]		
奨学金	103,783	直接送金+(10+2)
協力機関経費等	111,361	5/22Komai 会計、2/1 BATAS 会計に入金
旅費交通費	237,598	
会議費・事務用品費	19,628	AASNEWS 印刷・郵送費ほか
送金手数料	7,665	
通信費等	2,785	
外注加工費	11,000	HP 管理費
令和4年度に繰越し	62,821	
計	556,641	

3. AAS年会費納入のお願い

令和5年度の年会費(2千円)は同封の振替票による送金をお願いします。複数年度の会費を頂いた方に振替票が入っていたらご容赦下さい。AASへの皆様のご協力をよろしくお願いします。

【あしがき】

※春号とは名ばかり、梅雨明け直前の発行になりすみませんでした。AAS奨学生への第1回送金は6

月1日、2回目は12月1日と年2回とする変更をネパール側と協議し、今年度から適用します。

※ナレンドラ・オリ氏のペットボトル会社は飲料水宅配会社に起動を変え、新社屋の完成に向けて多忙な中で動いてもらいました。多謝。

※国際送金はkyodai-remittanceを利用、AASの活動を説明して割引手数料としてもらいました。

※乗り継ぎのため、久しぶりに香港に滞在しました。台風2号の一日後の帰国となった件と併せR5訪問記(第2弾)は次号ご期待。ところでタイ航空名古屋便はいつ復活するのでしょうか。

【中学校課外授業の一環でAASを訪問後に頂いたうれしくなつかしい手紙が見つかりました。】

先日は私達のために貴重なお時間をさいてくださり、本当に有り難うございました。ネパールの生活現状をお聞きし、胸がいっぱいになりました。学校に行きたくても行けない子供たちのことを考えると、私はなんて幸せなんだろうと思います。今回学び得たものは、本当に大きいです。有り難うございました。アンジュ(ゲスト)さんによろしくお伝えください。平成13年2月20日 東陵中学校一年 峠田彩香

AICHI-ASIA-SCHOLARSHIP

愛知・アジア・スカラーシップ

〒440-0862 豊橋市向山大池町18-15 AAS

TEL 080-5293-3400(中沢) FAX 0532-53-3401

郵便振替口座 00830-6-18218 加入者名 AAS

E-mail aas@sala2.dti.ne.jp HP <http://www.kkan.net/aas/iweb>